

**【参考】宮崎県障がい者技能競技大会 課題
【ビルクリーニング競技】**

◇一般的な注意事項

1. 課題の時間が定められています。
弾性床清掃及び机上清掃：10分
カーペット床清掃：7分
2. 使用する機材は、支給されたもの以外は使用できません。
3. 競技採点は、作業準備、作業動作（手順）、仕様誤り、作業態度、作業時間などから審査し、加点方式によって行われます。
4. 作業に適した服装をしてください。
5. 作業開始の指示は、競技委員が行います。「始めます」「終わりました」の申告は、競技者自身で行うこと。
6. 各作業は、使用した資機材を手入れした後、指定された場所へ片付けて完了とします。

◇弾性床清掃

1. 作業面積は、16㎡（4m×4m）の広さです。
2. 床面の掃き・拭き作業及びごみ処理・机上拭きの作業です。
3. 作業に使用する色々な資機材・消耗品は、作業用具保管台に乗せてあるものを点検してください。
4. モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に小鼻の位置の長さに調節して下さい。
5. ダスタークロスは、競技者が作業前に取り付けて点検して下さい。
6. 幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
7. 作業場所にある机は、移動させないでください。
8. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

◇カーペット床清掃

1. 作業面積は16㎡（4m×4m）とし、幅木により区画します。
2. カーペット床の吸塵作業です。
3. 床のゴミは、シュレッダーで裁断したものを50mℓ程度まいたものとしします。
4. 幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
5. 作業場所にある机は、移動させないでください。
6. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

宮崎県障がい者技能競技大会
【参考】ビルクリーニング競技課題

課題 1

弾性床清掃及び机上清掃

標準競技作業時間 10分

作業工程	作業方法	チェックポイント	留意事項	作業時間
資機材の準備	作業に必要な資機材は、すでに会場に準備されている (必要な資機材・数量は資機材一覧を参照) 1. モップの柄の長さを調整する 小鼻の位置が適切 2. ダストクロスを ダスト ヘッドに装着する	資機材が過不足無く準備されているかを 目視 にて点検し、異常があれば速やかに申し出る	資機材の点検終了後審査員の指示に従い作業準備に入る	0
競技開始挨拶	定のスタートラインに立ち、審査員の“始め”の合図で《“始めます”と片手を上げ競技開始》を申告する			
作業準備	作業カートを保管場所から作業場所の近くへ移動 作業表示板を立てる	作業しやすい場所へ移動 作業の邪魔にならず 通行人からよく見える安全な場所に設置	作業開始後は 資機材は取りにもどれない	0.20
入室のあいさつ	出入口にて室内に向かい入室のあいさつを行う	“失礼します”と一礼し入室する	声を出して申告	0.30
イスあげ・ごみ処理作業	1. 作業前にイスを机の上にあげる 2. ごみ箱にセットされているごみ袋ごと 作業カートダスト袋へ入れる 3. ごみ袋のスペア袋をカート中段から取り出し、ごみ箱にセットする 4. ごみ箱を机の上にあげる	イスの足・タイヤが机の四隅からはみ出さない ごみが袋から ごみが落ち ないように運ぶ ビニール袋を 正しくセット する ごみ箱が 机幅からはみださ ないように正しくのせる	イスを机から引き出す時に 机に当てたり、机を動かしたりしない	2.00
除塵作業 ※乾式モップ作業 手順参照	1. 乾式モップはコート（作業場所）入口の養生マットの上でセットする 2. 乾式モップを持ち、外から 出入口付近 を除塵し、コートへ入る 3. 幅木側、机の下、中央部の順に作業を行う 4. 前進しながら、ごみを出入口に向けて一ヶ所に集める 5. ヘッドを モップハンドル から外し、使用済ダストクロスをはずす 6. 使用済みダストクロスは、作業カートの ダスト袋 へ入れ、ヘッドはカート上段の邪魔にならない場所におき、モップ柄は元の位置に戻す	上の手は柄の先端を親指で押えて握り、もう一方の手は順手で。 乾式モップのヘッドは、左右の位置で正確に半回転させ、横一直線で前進移動する モップは叩かない、戻さない、浮かさない、ぶつけない 押し幅が1/4程度重なるように ダストクロスは汚れた面を内側に折りたたむ ヘッドのスポンジ面を上にして置く	ヘッドの辺が短い方が手前 回転はグリップ部分を軸に 幅木コーナーはヘッドの上部の角が入るよう に操作する 全て前進作業 ごみを踏まないよう に ダストクロスの中心を軽く持ち上げさらに2つ折にする	

課題 1

弾性床清掃及び机上清掃

標準競技作業時間 10分

作業工程	作業方法	チェックポイント	留意事項	作業時間
除塵作業	7. 小ほうき とちりとりを持ち、コート（作業場所）に入る。 8. 集めたごみを 出入口へと下がりながら掃き 取る。 9. ごみの取り残しがないか 目視 点検する 10. 使用した 小ほうき とちりとりをカートの元の位置に戻す	ほうきの毛先をちりとりの中へ確実に入れる ごみを取り残さない コートの四隅、机の下の確認を必ず行う	毛先の半分を使って、ちりとりの中まで毛先を入れる	4.30
水拭き作業 ※水拭きモップ作業手順参照	1. モップハンドル と水拭きモップを持ち出入口付近（養生マットの上）でセット（取付け）する 2. モップでコート（作業場）全面を拭く 3. 幅木側、机の下、中央部の順で拭く 4. コーナー、机の下、出入り口はモップの先端に手を添えて拭く 5. モップは区画ごとに方向転換し、モップ全体を使って拭く 6. モップは横拭きとし、時々裏返ししながら後退しながら拭く 7. 拭き終わったら、養生マットの上で、モップを取り外し、ハンドルもモップもカートの元の位置に戻す 8. イス・ごみ箱を机の下の元の位置へ下ろす	1回拭き 上の手は柄の先端を親指で押えて握り、もう一方の手は順手で 拭いた所は踏まない 幅木や机の脚部にふれないこと モップは1区画毎に1～2回裏返す カートの定位置へ戻す 安全に音を立てないように降ろす	モップの先端を手の平全体で包み込むように添える 1区画（150cm）の途中で必ず裏返す	6.30
机上拭き作業	1. カート上段の水拭き（青色）タオル、空拭き（白色）タオルをもち、コート内に（作業面）に入る 2. タオルを八つ折にし、机上を水拭きする 3. タオルを八つ折にし、机上を空拭きする 4. カートの元の位置へ戻す	タオルが汚れたら綺麗な面に折り返して拭く 縦拭き、横拭きを行う	タオルがぼらつかないように親指で 合わせ面 を押えて持つ拭きむらが無い様は	8.30
点検作業	1. コート（作業場）内に入り作業点検（指差し・目視点検）を行う	資機材の忘れ、ごみの取り残しなどの点検	コート全体を確認	9.15
退室のあいさつ	1. 出入口にて室内に向って退室の挨拶を行う	“失礼しました”等、一礼し、挨拶	作業終了しましたがよい	9.30
資機材のかたづけ	1. 作業表示板を作業カートの元の位置に戻し、カートを保管場所に戻す	元の場所へもどす	両手でカートを押す	9.45
競技終了挨拶	1. 所定のスタートラインに立ち、終了挨拶を行う	“作業終わりました”又は“作業終了しました”等の意思表示を行う		10.00

課題 2

カーペット床清掃

標準競技作業時間 7分

作業工程	作業方法	チェックポイント	留意事項	作業時間
資機材の準備	作業に必要な真空掃除機は、すでに会場に準備されている 真空掃除機のホース・ノズルはセットしてある（事前にセット済）	資機材が過不足無く準備されているかを点検し、異常があれば速やかに申し出る	資機材の点検終了後審査員の指示に従い作業準備に入る	0
競技開始挨拶	所定のスタートラインに立ち、審査員の“始め”の合図で《“始めます”と片手を上げ競技開始》を申告する			
作業準備	1. 真空掃除機を保管場所から作業場所近くへ移動 2. コードを本体から外しプラグをコンセントに差し込む 3. 起動確認を行う	作業しやすい場所へ移動 プラグをしっかり持ち差しこむ 吸込み口に手をあて吸引確認	作業開始後は資機材は取りにもどれない	1.00
入室のあいさつ	出入口にて室内に向かい入室のあいさつを行う	“失礼します”と一礼し入室する		1.35
除塵作業 ※バキューム作業 手順参照	1. コート外から真空掃除機で出入口付近を除塵し、作業場所へ入る 2. 真空掃除機を作業場所に移動する 3. 入口より奥に向かって右幅木側・中央部機の下へと順に進進しながらごみを吸引する 4. ノズル幅が1/3程度重なるように操作する 5. コード・真空掃除機本体が作業の邪魔にならない位置にて操作する 6. ゴミ箱を移動しゴミ箱下も徐塵する 7. 幅木側や机下にごみが残らないように操作する 8. 作業が終わったら、終了位置でスイッチをOFFにする 9. 真空掃除機を作業場所の外の安全な場所に移動し、コンセントからプラグを両手を使い抜く	持ち込みの際に幅木に当てない ごみを踏まずにスムーズな動作で行う 幅木・机脚部にノズルや本体・コードが触れないように 取り残しがないように ホースを引っ張って本体を移動させない ※本体の持ち手を持って移動する コードを踏まない、またがない	イスは一度引出して机下部は操作する 引出したイスは元の位置へ戻す	4.35
点検	10. 指さし又は目視にてコート内を点検する	ごみの取り残しがないかあれば拾う		4.40
退室のあいさつ	1. 出入口にて室内に向かい退室の挨拶を行う	“失礼しました”等、一礼し、挨拶		4.45

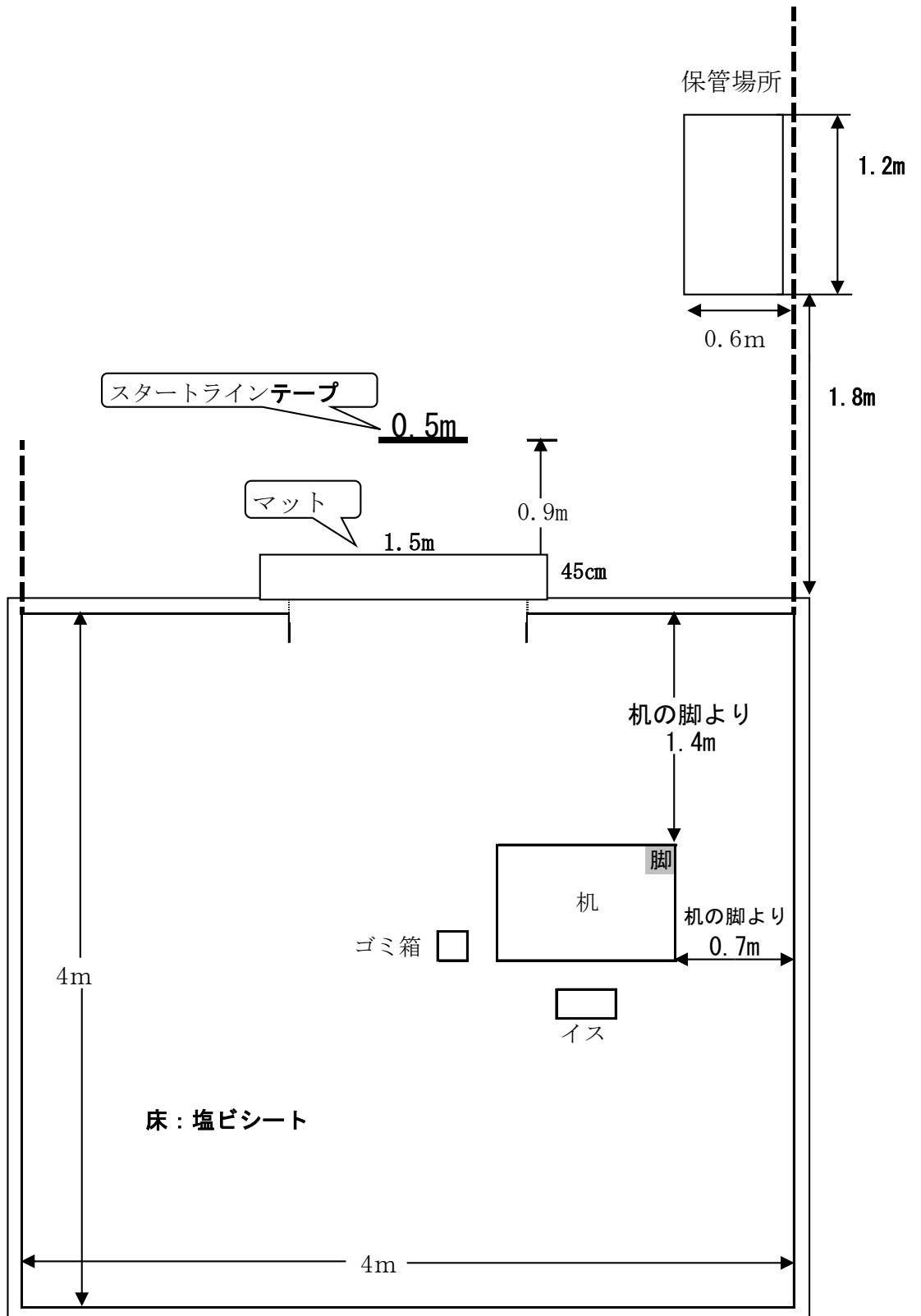
課題 2

カーペット床清掃

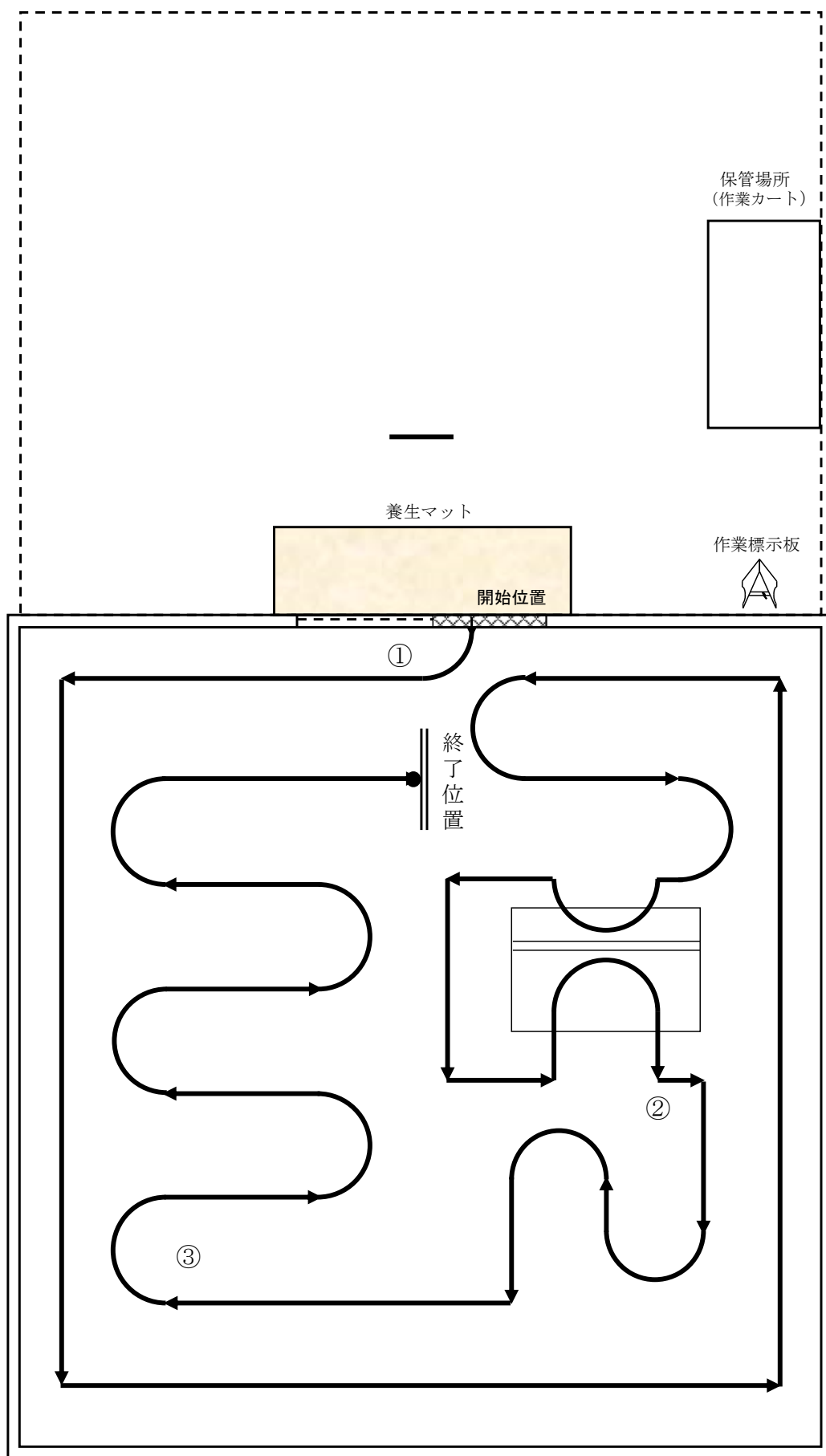
標準競技作業時間 7分

作業工程	作業方法	チェックポイント	留意事項	作業時間
資機材のかたづけ	<ol style="list-style-type: none">コードを巻き取り、真空掃除機本体の持ち手に差し込むノズル部を真空掃除機本体に設置する元の所定の位置（枠内）に戻す	<p>本体を足で支えて巻き取るコードがバラバラにならないように</p> <p>枠からはみ出さない</p>		6.50
競技終了挨拶	<ol style="list-style-type: none">所定のスタートラインに立ち、終了挨拶を行う	<p>“作業終わりました” 又は “作業終了しました” 等の申告を行う</p>		7.00

標準配置図(モデル)

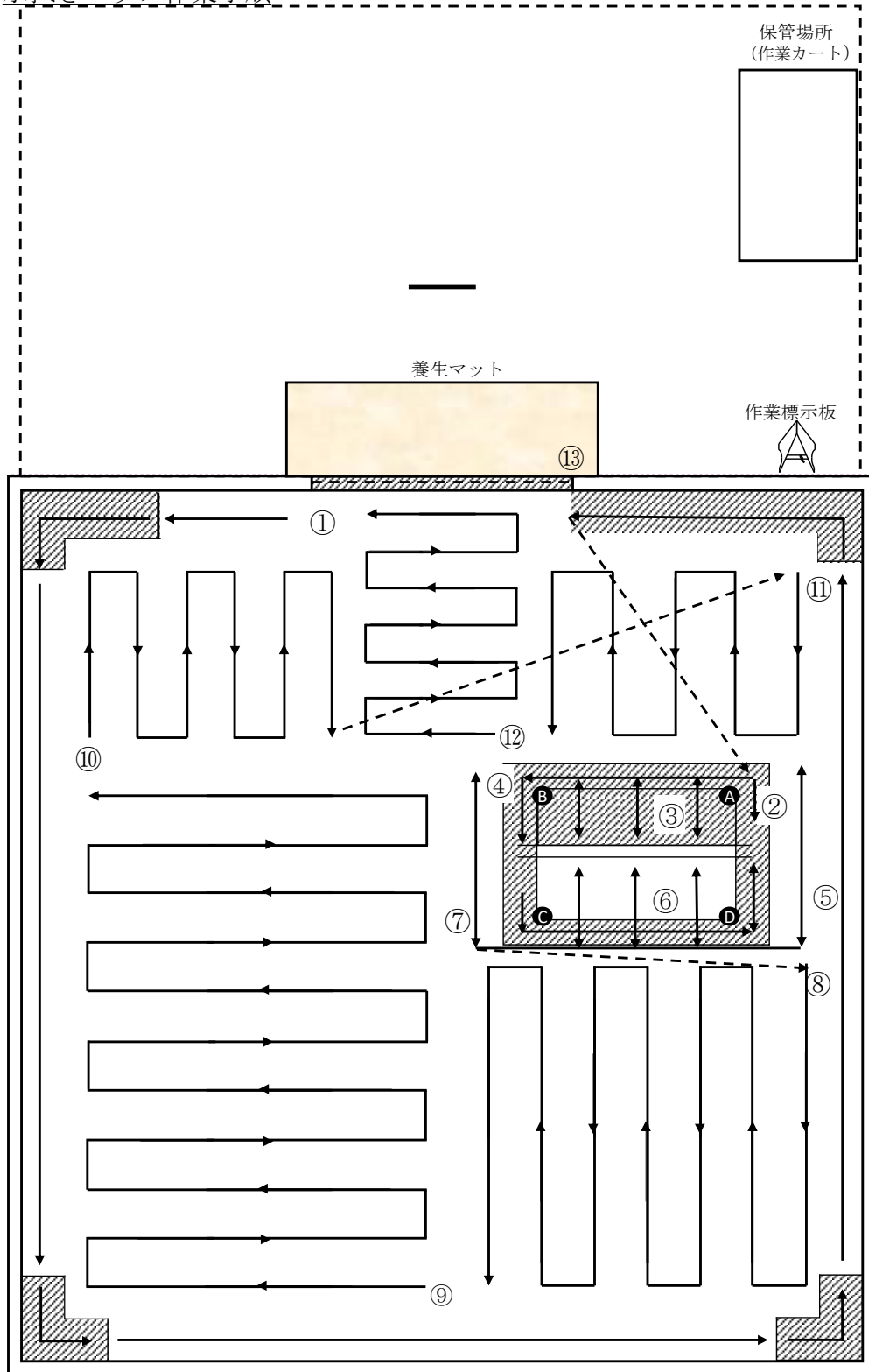



乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

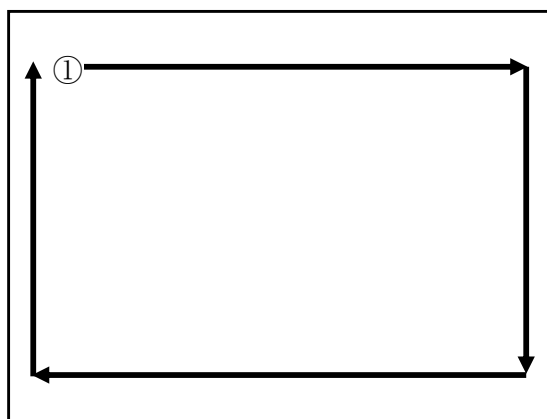
水拭きモップ作業手順



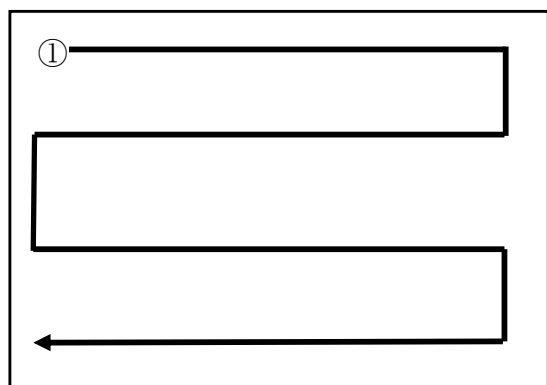
注：  印は手を添える箇所を示す。 水拭き回数を入れたものではありません。

- ① 巾木側を1周すること。(コーナーは手を添えます)
- ② Aの足回りを手を添えて拭く
- ③ 机の下を手を添えて拭く
- ④ B足、C足、D足の順に足回りを手を添えて拭く
- ⑤ 机の脇(壁側)を拭く
- ⑥ 机の下を手を添えずに拭く
- ⑦ 机の脇(入口側)を拭く
- ⑧～⑫ スパンを決めて拭く
- ⑬ 入口を手を添えて拭く

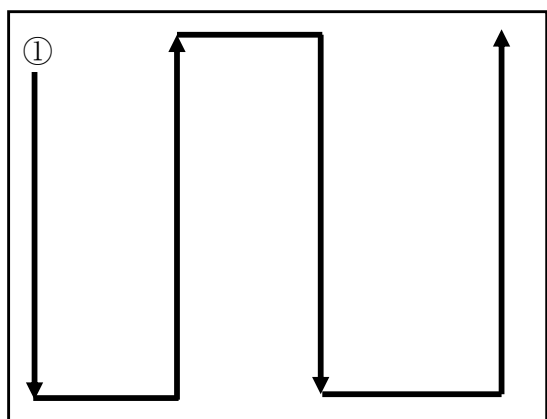
机上拭き作業手順



①四角く、縁にそって拭きます。
(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。
(このとき、拭きムラの無いように注意
します。また、左右の動きにより、往復の回
数が異なります。)



③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下
に拭きます。(このとき、拭きムラの無いよ
うに注意します。また、上下の動きにより往
復回数は、異なります。)

④から拭きも同じように行います。

注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で
持つ人の場合は、左右を逆として構いません。